



公立大学法人
会津大学



2024年12月11日

報道機関 各位

公立大学法人会津大学
福島国際研究教育機構

「ふくしま未来創造プログラム」の開催について（ご案内）

この度、公立大学法人会津大学と福島国際研究教育機構（F-REI）は、下記のとおり、教育関連イベントを開催しますので、取材方よろしくお願いいたします。

記

～ 取材のポイント ～

- 福島県内の各教育機関からの逸材が浜通りに集結！！
- 会津大学とF-REIとの初めての共催による人材育成イベント
- F-REIの人材育成事業として初となる、英語を基本としたイベントにより福島の現状を世界にアピール
- 日本人学生・生徒と留学生との協働学習の実践
- 新しく有益な解決策・アイデアを創造する視察・ワークショップ

1 日時・場所など

- (1) イベント名：2024年度 ふくしま未来創造プログラム
- (2) 日 時：2024年12月24日（火）～25日（水） 9：00～17：00
（特に、24日（火）9時20分からのF-REI 山崎理事長の特別講義
24日（火）12時20分からの浪江町内フィールドワーク、
25日（水）13時40分からの振り返りワークショップ、発表
を取材いただくと幸いです。その他の活動も取材可能です。）
- (3) 場 所：浪江町地域スポーツセンター（福島県双葉郡浪江町権現堂下馬洗田5-2）、
浪江町内（福島県双葉郡浪江町）、
東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県双葉郡双葉町中野高田39）、
福島ロボットテストフィールド（福島県南相馬市原町区萱浜新赤沼83）

- (4) 参加予定者：福島大学、福島県立医科大学、会津大学、東日本国際大学、福島工業高等専門学校、ふたば未来学園高等学校の学生・生徒・留学生 計58名

2 趣旨

会津大学とF-REIの共催により、自治体や関係機関と連携して東日本大震災及び原子力災害からの復興・再生、並びに社会経済状況の変化に柔軟かつ能動的に対応できる人材を育成するため、福島県内の学生・生徒等が現地の状況やニーズの理解を深めることを目的とする。国内外の学生が実践的な学びを通じて、ICTを活用して革新的な未来を共に創造し、多角的な視点と国際的な理解を高める機会を提供する。これにより、持続可能な社会の構築に寄与する。

3 内容

参加者は1泊2日の日程で、東日本大震災・原子力災害伝承館および福島ロボットテストフィールドの視察や講義を通して、福島の実状や復興への取り組みについて理解を深める。視察後、振り返りワークショップを通じて「ふくしまの未来のために何ができるか」を創造し、その成果をSNSで発信して国内外のステークホルダーとの相互理解を深める。

※ 当該プログラムは英語で実施する。

<プログラム(予定)>

12月24日(火)

時間	内容	
9:00	集合	浪江町地域スポーツセンター
9:20-10:00	特別講義 (F-REI 山崎理事長)	同上
10:00-10:30	アイスブレイク	同上
10:30-11:00	浪江町の復興状況 (浪江町職員)	同上
11:00-11:30	ふたば未来高校生の発表	同上
11:30-12:20	昼食	
12:20-16:00	フィールドワーク ・ 浪江町商工会会長様からの講話 ・ (株) ニーズエステート代表様からの講話 ・ 浪江町～浪江町役場付近を散策 ・ (ヒアリング) 居酒屋こんどこそ様 ・ (ヒアリング) おむすび専門店えん様	浪江町地域スポーツセンター 浪江町内
16:00-18:00	1日目の振り返り	道の駅なみえ
	宿泊	いこいの村なみえ

12月25日(水)

時間	内容	
9:00-10:50	視察	東日本大震災・原子力災害伝承館
11:00-11:40	移動	
11:40-12:20	昼食	福島ロボットテストフィールド
12:30-12:50	講演 (イノベ機構)	同上
12:50-13:40	視察、会津大学ロボットデモ等	同上
13:40-16:40	振り返りワークショップ、発表	同上
17:00	解散	

注) 内容は変更になる可能性がありますことをご了承ください。

4 主催等

(1) 主催

公立大学法人会津大学

(2) 共催

福島国際研究教育機構 (F-R E I)

(3) 後援

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、
復興庁、福島県、福島県教育委員会、双葉町、南相馬市、浪江町

5 取材対応

- (1) 取材を希望される方は、別添様式に必要事項を記載の上、6に記載の連絡先へメールでお申し込みください。【※申込期限：12月23日(月)正午(必着)】
- (2) 取材の際は、社名入りの腕章を必ず着用してください。
※腕章がない場合、取材をお断りさせていただく場合があります。
- (3) 開催場所への直接の問合せはご遠慮ください。
- (4) 取材に当たっては、現地担当者の指示に従ってください。
- (5) 開催中止又は時間等に変更が生じましたら、ご登録いただきました連絡先にお知らせします。

6 連絡先

公立大学法人会津大学 国際戦略室 担当：川口・加藤 電 話： 0242-37-2761 E-mail： osip-global@u-aizu.ac.jp ※12月24日、25日は、上記電話はつながりません。

(別添様式)

公立大学法人会津大学 国際戦略室 行

【事前登録先】 E-Mail: osip-global@u-aizu.ac.jp

【問合せ先】 国際戦略室 (川口・加藤)

【令和6年12月23日(月)正午必着】

取材申込書

令和6年12月24日(火)～25(水)開催の「ふくしま未来創造プログラム」について取材を希望します。

1 会社名及び部署名

--

2 取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記入)

--

3 取材希望(以下、希望するもの全てにチェック)

【12月24日(火)】

特別講義(F-REI 山崎理事長) 9:20～10:00 (浪江町地域スポーツセンター)

【12月24日(火)フィールドワーク】

講話 12:20～13:10 (浪江町地域スポーツセンター)

散策・ヒアリング 13:10～16:00 (浪江町内)

【12月24日(火)】

その他

【12月25日(水)】

振り返りワークショップ、発表 13:40～16:40 (福島ロボットテストフィールド)

【12月25日(水)】

その他

4 テレビカメラの持ち込みの有無

有 無

5 代表者の連絡先

(電 話)

(E-Mail)

福島県内教育機関 対象

Participants: Students from the educational institutions in Fukushima prefecture

AY2024

ふくしま未来 創造プログラム

Fukushima Future Creation Program



東日本大震災と原子力災害を知る

Understanding the Impact of Great East Japan
Earthquake and the Nuclear Disaster

地域の復興・創成の過程を学ぶ

Insights into the Process of Regional
Revitalization and Creation



ふくしまの未来をみんなで考える

Envisioning a Collaborative Future of Fukushima

SNSで地域と世界へ情報発信

Sharing Local and Global Insights
through Social Media



研修費無料

(昼食費等以外)

No Program Fee
(except lunch fees in
principle)

2024

12/24 & 25

(Tue)

(Wed)

1泊2日
overnight
Trip

募集人数

50人程度

Number of
participants
50 students

使用言語：英語（日本語通訳あり）

Language in use English (with Japanese interpretation)

交通手段：各教育機関発着の貸切バス等で移動

Transportation Travel using charter buses to and from each educational institution

プログラム説明会

11月1日(金)

12:25 - 12:55

@ Zoom

Explanatory Session

Fri, Nov. 1st

12:25~12:55

@ Zoom

説明会への申込はこちら→

Register for the info session



応募申請はこちら→

Apply for the Program

締切 **Deadline:**

2024年11月20日(水) 17:00

17:00, Wed, Nov. 20, 2024



主催：公立大学法人 会津大学

共催：福島国際研究教育機構 (F-REI)

後援：福島イノベーション・コースト構想推進機構、復興庁、福島県、
福島県教育委員会、双葉町、南相馬市、浪江町

教職員の方々の見学も大歓迎

Faculty and staff members are always welcome to join



Tentative Schedule 日程(予定)

2024年12月24日(火) / Tuesday, December 24, 2024

時間 Time	活動内容 Activities	場所 Venues
	各教育機関に集合・貸切バス等で移動 Gather at each edu. institution and travel by charter bus, etc.	各教育機関 Each educational institution
09:00 - 11:30	F-REI 山崎理事長による特別講義 東日本大震災・原子力災害の震災講話 Special lecture by Dr. Yamazaki of F-REI, and Disaster Lecture	浪江町地域スポーツセンター Namie Community Sports Center
12:20 - 17:00	浪江町内フィールドワーク、振り返り Fieldwork in Namie Town, Reflection	浪江町内 Namie Town
18:10	宿泊 Accommodation	いこいの村なみえ Ikoi Village in Namie

2024年12月25日(水) / Wednesday, December 25, 2024

時間 Time	活動内容 Activities	場所 Venues
	貸切バス等で伝承館へ移動 Travel by charter bus to Museum, etc.	高校、いこいの村なみえ High school, Ikoi Village in Namie
09:00 - 11:00	東日本大震災・原子力災害伝承館の視察 Visit the The Great East Japan EQ and ND Memorial Museum	東日本大震災・原子力災害伝承館 Memorial Museum
12:30 - 13:40	福島ロボットテストフィールドの視察 福島イノベーション・コースト構想についての講話 Visit the Fukushima Robot Test Field, Lecture on FIPO	福島ロボットテストフィールド Fukushima Robot Test Field
13:40 - 16:40	振り返りワークショップ、成果発表会 Reflection Workshop	福島ロボットテストフィールド Fukushima Robot Test Field
17:00	各教育機関へ貸し切りバス等で移動 Return to each educational institution by charter bus	各教育機関 Each Educational Institution

<応募者資格>

- (1) 2024年度の申請時に、各教育機関の学生(学部生・大学院生・高専生)であること。(正規・非正規生、国籍・地域は問わない)
- (2) 心身ともに訪問先での活動に支障がないこと。
- (3) プログラム成果を地域の国際交流活動等に積極的に還元する意欲があること。
- (4) 採用された学生は、本プログラムの事前オリエンテーションに参加し、報告書及びアンケートを期日までに回答すること。

<留意事項>

- ・応募者多数の場合、申請書による書類審査を実施します。
- ・応募者の国・地域の偏りがないように配慮します。
- ・応募者の男女比を考慮します。
- ・出発直前のキャンセルは、各自負担金を返却しません。

<Applicant Qualifications>

- (1) As of the application date in 2024, applicants must be students (undergraduate, graduate, or technical college) at an educational institution. Both full-time and part-time students are eligible, regardless of nationality or region.
- (2) Applicants must be physically and mentally fit to participate in activities at the host location.
- (3) Applicants must demonstrate a willingness to actively contribute to the program's outcomes in local intl. exchange activities.
- (4) Selected students are required to attend the pre-program orientation and must submit a report and respond to surveys by the specified deadlines.

<Notes>

- If there are many applicants, a document screening process will be conducted based on the application forms.
- Efforts will be made to ensure balanced representation of applicants from different countries and regions.
- Consideration will be given to the gender ratio of applicants.
- Cancellations shortly before departure will result in the forfeiture of any fees paid.

問合せ先 会津大学 国際戦略室 osip@u-aizu.ac.jp

Contact

Office for Strategy of International Programs, The University of Aizu